

平成27年 3月9日

上那賀中学校
保護者の皆様へ

上那賀中学校長 三浦 恵子

一雨ごとに春の気配が増して参りました。保護者の皆様方にはご健勝のことと存じます。日頃は本校教育活動に多大のご支援ご協力ありがとうございます。

さて、2月下旬に保護者の皆様と生徒に対してアンケート調査を行い上那賀中学校の教育活動に対する満足度を調査いたしました。集計結果をもとに平成26年度の学校評価をまとめましたので、お知らせいたします。

★ **調査内容** 次の10項目の質問に対して、次の4段階で回答していただきました。

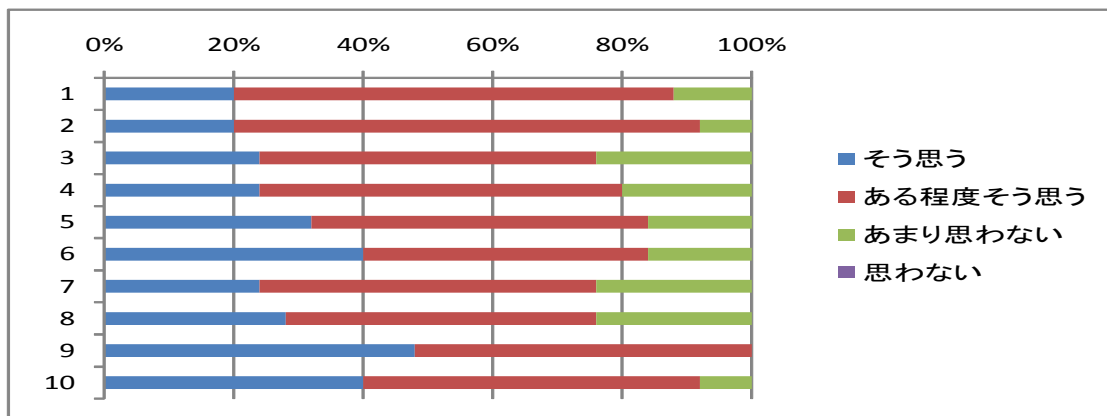
A そう思う B ある程度そう思う C あまり思わない D 思わない

- (1) 校風・伝統を生かして、特色ある学校づくりがされている。
- (2) 生徒や保護者・地域の方の要望を生かした学校行事が行われている。
- (3) 生徒の進路や興味・関心に配慮した授業がなされている。
- (4) 生徒の立場に立ったわかりやすい指導がされている。
- (5) 教職員は個々の生徒の生活や学習の様子について気配りし、適切に注意や指導ができています。
- (6) 一人ひとりに目を配り、いじめなどのない楽しい学級作りに配慮されている
- (7) 生徒の能力・適正を生かすきめ細かい進路指導がされている。
- (8) 学校行事や部活動を通して、生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導がされている。
- (9) 生徒の健康・交通安全などに配慮された指導がされている。
- (10) 学校や学年の様子について、上中だよりや学級通信などの配布物やホームページで情報提供がなされている。

★ **調査結果**

A **保護者アンケート調査結果**

回収率 100%



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均は次のとおりです。

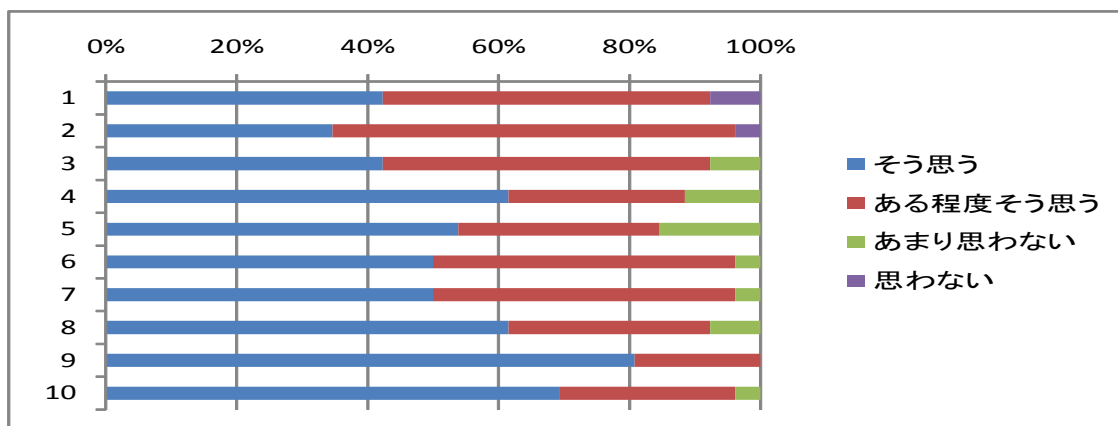
A 30.0% B 54.8% C 15.2% D 0%

考察

- (1) 肯定率 100%は設問9(生徒の健康・交通安全などに配慮された指導)で、90%を越えているのが設問2(要望を生かした学校行事)・設問10(学校や学年の様子についての情報提供)の2項目であり、昨年度に比べ1項目増えた。80%台は設問1(校風・伝統を生かした、特色ある学校づくり)・設問4(生徒の立場に立った指導)設問5(個々の生徒の生活や学習の様子に配慮した指導)・設問6(一人ひとりに配慮したいじめのない学級作り)で4項目とも昨年度より向上した。特に設問4は昨年度69%から80%に向上した。他の項目も全て70%を越えており、今後も子どもたち一人一人の状況に応じた継続した指導が必要であると考えます。
- (2) 肯定率が下がった項目は、設問3(生徒の進路や興味・関心に配慮した授業)・設問7(細かい進路指導設問)・設問8(生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導)の3項目で、今後体験活動の内容等を検討し、個々の生徒の自主性を育む活動、系統だったキャリア教育に取り組む必要があると考えます。

B 生徒アンケート調査結果

生徒アンケートは保護者アンケートの質問事項を少しわかりやすく表現を変え実施しました。
実施率 100%



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均は次のとおりです。

A 54.6% B 38.8% C 5.4% D 1.2%

考察

- (1) 全設問肯定率 80% を越え、特に設問 9 (生徒の健康・交通安全などに配慮された指導) は 100% であり、設問 1 (校風・伝統を生かして、特色ある学校づくり)・設問 2 (要望を生かした学校行事)・設問 6 (いじめなどのない楽しい学級作り)・設問 7 (能力・適正を生かすきめ細かい進路指導)・設問 10 (学校や学年の様子についての情報提供) の 4 項目は 96% となっている。生徒たちにとっては、毎日が安心・安全で集団生活の規律を守り、充実した学校生活が送れていると考えられる。
- (2) 肯定率は高いが、設問 4 (生徒の立場に立ったわかりやすい指導)・設問 5 (個々の生徒の生活や学習の様子に配慮した指導) の 2 項目には否定的な意見もある。生徒一人一人の想いや実態をより深く理解して指導にあたり、能力を伸ばして欲しいという生徒の思いがあると考えられる。
- (3) 学年の肯定率の平均は 1 年生 96%、2 年生 96%、3 年生 89% となっており、3 年生が低いのは最上級学年としての学校への期待・想いの表れであると考えられる。

★ 教職員による学校評価より

教職員は 1 学期末・2 学期末に詳しく自己評価を実施してる。それをもとに、問題点を洗い出し、考察を重ね、次の学期により良い方向へと取組を行ってきた。特に次の項目について共通理解を図り取り組んできた。

- (1) 基本的な生活習慣を身につけさせる指導
- (2) 言語活動を取り入れた授業の実施、家庭学習の定着を図るための手立て
- (3) 防災・安全指導を組織的に行うこと
- (4) 部活動を通じての礼儀や感謝マナーの指導
- (5) 人権問題学習の計画的な実施

★ 総括・おわりに

保護者 (84.8%) 生徒 (93.5%) と全設問に対して肯定的な評価が高くおおむね平成 26 年度上那賀中学校としての教育活動に成果があったと考えられる。家庭・地域・関係機関の協力を得て、少人数の子どもたち一人一人をいかし、「今日も来てよかった。明日も来たい。」といえる学校をめざして、全教職員で取り組んできたことが成果として表れてきているのではないだろうか。しかしこの結果に満足することなく、生徒・保護者の少数に意見にも耳を傾け、真摯に受け止めていきたい。さらに、生徒一人一人と向き合い、生徒との信頼関係を深め、より分かりやすい授業やきめ細やかな生徒指導を行わなければならない。そして将来を見据え、校訓「自ら鍛える」にもあるように自分を見つめ、自己に厳しく地道に努力を重ね、自ら動ける生徒の育成に取り組んでいきたい。また、今後も引き続き学校・学年便りやホームページ等を有効活用し、保護者をはじめ地域の方々にさらに上那賀中学校を知り協力していただき、地域の教育力を生かした「開かれた学校」づくりに取り組んでいきたい。